

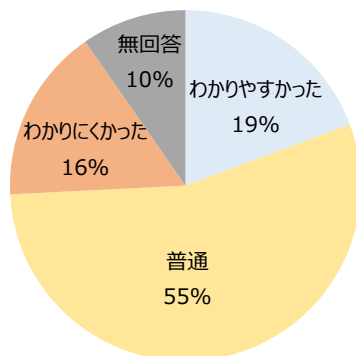
白馬村図書館等複合施設住民説明会
アンケート集計結果

2021.4.12

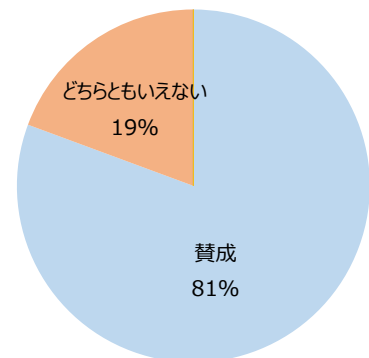
回答者：31 名（参加者：48 名）

回答率：64.6%

1. 担当者の説明はわかりやすかったですか。



2. 候補地が見直されたことに対して
どう思いますか。



3. 説明会の内容を聞いて感じたことをお聴かせください。

- ・説明が単純過ぎて本当のことが伝わっていない。「構想」と「計画」の分析結果にも触れるべき。今後の方針について事務局からの提案が必要だった。
- ・いろいろな方の意見を聞くことができた。
- ・候補地について、教育委員会では子育て支援ルームとしていたのに、総務課で駅になったことに「おかしい」と思う人が多いのでは…。
- ・民間事業者からの意見ではD候補地を推奨する者は少なかったようだが、なぜD候補地を最優先候補地として進んでしまったのか。官民連携の負担減ありきが見え見え。
- ・係長頑張ってください。
- ・何回やっても結論は出ないと思う。
- ・総務課で駅案に決定し、担当が生涯学習スポーツ課に駅案が廃案になった。一村民としてまったく村民の意見が入ってないと思った。
- ・今日が出発点という印象。駅前の案が撤回されて本当に良かったと思う。「見直し」というよりも、ゼロに戻して「誰のために、何のために」図書館をつくり直すのかを考えた方がよい。
- ・村長が不在なことはとても無責任だと感じた。
- ・自分には責任がないと思っていることの表れだと思う。
- ・これだけの事業に対して役場の中に情熱的な方がいない。

- ・今回は子育て中の身には時間帯が厳しく、終盤(19:30～)しか聴けなかったが、役場の方・参加者の方、皆さんの熱心さが伝わってきて、安心した。参加できてよかった。
- ・結局、4年間で何も進展していない。あまりにも計画性がない。
- ・図書館は行政サービスの一つと言いながら、本音は民間に頼む。村民の意見が反映されていなかった。
- ・感染症拡大予防策を講じた上でこのような会を開催してくださったことに感謝します。
- ・子育て世代のママの参加またの機会があればと思います。
- ・役場に未来の図書館についてポリシーがない。
- ・関心の高さを感じた。建設の賛否両論あるが活発な議論で良かった。
- ・度々、意見を聴く機会を持ってほしい。
- ・課題が多い。本当にまとまるのか心配。誰がいつまでに、どう決定するのか。一旦ストップしたことは評価する。
- ・なぜB候補地はなくなったのか？金銭面が厳しいからC候補地ということで、狭い土地に厳しい財源で建設しても中途半端になるのでは？買い物しながら遊ばせられる、木流川が近いという面ではA候補地またはB候補地では？
- ・経緯の説明は良く分かりました。
- ・白馬駅案そのものに疑問を感じていました。
- ・住民に説明をしたり意見を聴く場をもっと設けてほしい。
- ・村民の意見を聞くといいながらもD候補になったことに全く納得のいく説明、論理的な決定の根拠が分からないことが理解できました。
- ・住民と役人の温度差。施設が完成する気がしない。
- ・どういう図書館を作りたいのかが見えてこなかった。
- ・参加者が少ない割に、いろいろな意見が出た。
- ・たびたび村民の声を聞く会を開いてほしい。
- ・遅れて参加したため、質問・意見を見聞しただけなので何とも言えない。
- ・レジュメを見た限りでは少し違和感を覚えたのは「収益性」という言葉。
- ・図書館の評価を何で行うつもりがあるのかを聞きたい。図書館の価値は利用人数や貸出冊数ではないはず。
- ・丁寧な説明であったと思うが今までの経緯がわかりづらい。

4. 図書館等複合施設に期待することをお聴かせください。

- ・複合施設に議論が片寄り過ぎる。図書館そのものの議論が必要。
- ・利用者目線の施設が出来ればと思います。
- ・今回白紙になったが、D候補地に至った経緯が時間の無駄であり、始めから住民の意見を尊重して進めてほしかった。今後スムーズに進むようお願いしたい。
- ・村民が利用する施設。村民の輪が広がり、語り合う場所になれば。
- ・白馬村の財政が厳しい中、村民の要求として魅力的な図書館建設が望ましいが、本気でやる気

あるのか。時間かせぎのような気がする。

- ・全村民が喜んで利用する、自慢したくなるような施設にしたい。現在の建物を取り壊して、裏側の駐車場まで敷地を広げた上で、3～5 階建ての建物にしてはどうか？広い庭はなくとも、村役場の近くにあるという利便性は生かせる。
- ・遠くても通いたくなる図書館にしてください。
- ・白馬の自然の豊かさを感じられ、子どもを連れて、安心して訪れられる図書館になると良いなと期待しています。
- ・直感的に”魅力的だ”と感じられる施設になってほしい。子育て中の身としては広い駐車場は捨てないでほしい。
- ・老若男女、皆が楽しめるいこいの場を希望します。
- ・先ず、村民にとって良い、利用したいと思える施設をつくってほしい。
- ・財政的に無理のない施設であること。SDGs の目標の事例となるような施設であること。
- ・with コロナ、ポストコロナにふさわしい施設であること。
- ・意見を聴く場をもっと設けること。
- ・住民が利用しやすい、望む図書館を。
- ・図書館司書を正規職員にしてください。
- ・白馬らしさを大事にこだわって、他には無い唯一の図書館にしましょう。
- ・市民(村民)活動、ボランティア活動等の拠点機能も供えてほしい。建物の内・外（インドア・アウトドア）全て空間デザインをしてほしい。遊び場遊具設置、プレイルームプレイランド(B 候補地と C 候補地の一体的整備)
- ・全世代が利用できる施設を。観光客中心ではなく村民のための施設を。各世代の希望を聞き各世代の意見を 1 つずつ入れる施設を。
- ・白馬を代表する施設にしてほしいです。
- ・官民連携は人口の少ない村では利用者からの収益は見込めない。人を集める、収益するほどの利用を得るには観光とセットにする必要があるので、民間が行うと観光施設化してしまう。思い切って複合施設化をあきらめて、商業化をやめて、図書館としての基本機能に絞れば安価にすばらしい、村民のための図書館ができると考えます。
- ・村民の為の図書館を作ってほしい。民間を入れなくて良い。
- ・子育て複合施設は期待していました。室内遊びは本当に希望しています。
- ・住民のためを思った施設として、どこにできるにしても周辺住民への気遣いが必要。
- ・村民のために公共性を第一に考えて計画してほしい。蔵書を増やすことが第一です。
- ・自然環境が良く、山を眺めながらゆっくり本を読める空間を望みます。その上で収益性が見込めるものがあれば、検討するのはいいと思います。眺めのよいカフェなど。
- ・図書館以外にも子育て支援センターや会議室喫茶店など老若男女、年代を越えた村民のたまり場になるような施設であってほしい。
- ・社会教育のための複合施設であり、コミュニティの核となることが期待されていると思います。「官民連携」の中身には気をつけてもらいたい。
- ・村民の憩いの場、景観の良い場所。

5. 今後の検討の進め方について、ご意見やご提案がございましたらお聴かせください。

- ・事務局の存在を明確にする。(たとえば図書館建設問題事務局〔電話〜〕)
- ・財政的に建設が大丈夫か専門家の意見を基に事実をもって明らかにする。
- ・具体的提案を事務局が提出する。
- ・検討ばかりで前進していない。委員会だらけでいつになるのか不安になった。
- ・意見を聞くのは必要だが、それだけではまとまらない。考え方の違いがあるのはあたりまえ。慌てずに進めたほうがよい。
- ・いつも住民が知らない間に決定され、その後説明会が行われる事が多いのはなぜか。
- ・村の早期に建設するのだという姿勢、決意をみせてほしい。
- ・有識者の意見は必要か？白馬村の実状を知らない人が白馬村図書館の将来を決定することに反対。意見は村民の各世代からもれなくヒアリングを。担当者(責任者)を変更しないこと。図書館が完成する日まで、役場の担当の人は続けて任務してほしい。
- ・住民主体の検討委員会を早急につくってください。
- ・ウェブでの意見交換会も取り入れてほしい。
- ・どのくらいの規模のものを作るとどのくらいの”民”依存が発生するのか知りたい。
- ・以前も実施していたが、各学校のPTAにアンケートを取ってほしい。
- ・村民の意見を聞いて細かい計画を練り、無駄に時間をかけずに透明性を持って進めてほしい。
- ・役場の中で図書館関連の担当の方が頻繁に代わるのは望ましくないと考えます。本日登壇された方々は責任を持っていらっしゃる印象で、ぜひ長く関わっていただききたい。
- ・住民を含めた建設委員会を設置してほしい。
- ・村民の意見をできるかぎり多く聞く機会をつくってほしい。今回の様な形式だけでなく、小中高生にも聞いてほしい。
- ・建設地決定及び建築物・用地の空間デザインについて第三者の視点を取り入れるためにも公募型プロポーザルを実施して、プロにデザインしてもらう方式を採用すること。(書類審査→一次審査→二次審査、公開プレゼンも実施)(参考：木曽町庁舎建設プロセス)
- ・村民がイメージしやすいように形が見えるビジュアル化も重要(パース・スケッチ等)
- ・本当に最適な建設地を検討してほしい。施設の内容も片寄りを感じる。働く世代が休日に利用できる等も内容に含めてほしい。
- ・小学校、図書館、道の駅、松糸道路などトータルで今後の白馬を考えてほしい。コンパクトシティーは必須です。財源がないならなおさらです。
- ・みんなが利用したいと思える施設のありかたを再考し、必要十分な機能に絞った予算、広さを合致させて場所も含めて総合提案で候補を決めてはどうでしょうか。
- ・村民の説明会をもっと開いてほしい。曜日と時間に注意してほしい。
- ・本当に複合施設は必要なのかと疑います。
- ・検討している最中でも費用がかかっていることを理解してほしい。
- ・住民の意見を取り入れてほしい。
- ・SNSの活用で情報公開、意見収集。図書館に新図書館についてのアンケート用紙を置いてほ

しい。利用者の不満や希望を参考にしてほしい。

- ・住民の意見を聞く会を何回も開く。大北エリアの既存の図書館見学や交流会を開く。
- ・大変とは思いますが情報公開を進めつつ、図書館の意義、誰のための図書館なのかを、軸に据えて議論を進めてほしい。
- ・各世代それぞれの意見を拾う。情熱のある人に検討委員になってもらう。

6. 上記以外のご意見等がございましたらお聴かせください。

- ・開催日を土日の午後1時～4時とする。3時間は必要。子供連れでも参加できるようにする。出入りを自由にする。英語で説明できる人が必要。ただし、通訳を入れると会議として非常に時間をとる。同時通訳の候補が必要。
- ・説明会は昼の時間帯を望みます。
- ・若い人の意見も多数出て良かった。
- ・コンサル会社への無駄な出費、検討委員会の空回り…という過去の方法は終わりにしたい。村役場と住民は対立するものではない。協力しましょう。住民の代表をまとめながら、進めてほしい。ヒアリング・意見交換は、小さいグループで、複数回開催してほしい。Online、Webアンケートなどなど。今後を楽しみにしています。
- ・とても寒かった。説明会を開いてくださりありがとうございました。次回はぜひ子育て世代に優しい集まりにしてください。
- ・図書館を楽しみにしている住民の意見をしっかり聞いてほしい。住民目線を大事にしてほしい。
- ・前向きに、良い物を作っていきましょう。
- ・もっと多くの村民に興味を持ってもらえるようにわかり易く、積極的に呼びかけて、全ての村民の為の施設をつくると宣伝しながら、つくってほしい。
- ・大きな建設物、たくさんの蔵書がある”従来の図書館”イメージにとらわれない施設があれば…。スノーピークランドステーション白馬の一角に電子書籍で読書を楽しめるスペースがあってもよい。
- ・情報公開を必ず貫いてほしい。
- ・SDGsも十分考慮すること。すべての検討・計画・調査等について、プロセス・内容をオープンにしてほしい。村民主体の検討建設委員会を設置するべき。
- ・方針が反対団体の意見で、容易に変更されたのも不思議。D 候補地を見直した委員会はあったのか。（どのように検討されたのか）
- ・財政面は大切だがそればかりを中心に考えるのではなく、理想の施設をいかに工夫して金額を抑えて建設できるかを考えてほしい。
- ・内容が理想的なら皆協力すると思う。そうなればクラウドファンディング等も活用できると思う。
- ・総合提案で進めるのも良いと思います。
- ・司会者は、会議をリードするくらいの意気込みを持って臨んでほしい。
- ・すべて概算を出して話し合いをしてほしい。

- ・1ヶ月以内に見直したスケジュールを提示してほしい。情報が隠されていると思っています。
- ・学生や大人がゆっくり学習できる学習室を確保してほしい。放課後に子どもたちが独占することのないように。どうしたら多くの人が図書館を利用したくなるかを考えて検討してほしい。
- ・説明会の日時については、子育て中の母親たちが参加できる時間帯の配慮をする。
- ・いったいどんな図書館を作るのか？予算もいくらかかるのか？10億？もっと？ある程度概要が示されないとイメージが具体的にならない。
- ・透明性がある対応と情報共有をお願いしたい。
- ・「複合」の中身について、それぞれの目指す所をしっかりと明確にしていきたい。